



評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2 使用評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	DCMホームマック旭ヶ丘店	階数	地上4F
建設地	札幌市中央区南9条西22丁目1番2	構造	S造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域 他	平均居住人員	100 人
気候区分	2地域	年間使用時間	4,380 時間/年
建物用途	物販店	評価の段階	竣工段階評価
竣工年	2016年10月 竣工	評価の実施日	2016年12月1日
敷地面積	8,054 m ²	作成者	
建築面積	4,671 m ²	確認日	2016年12月22日
延床面積	11,992 m ²	確認者	

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B+: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.1

Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 3.2

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.0

LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.5

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.7

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 2.9

3 設計上の配慮事項		
<p>総合 近隣環境を配慮した配置、色使い等を重視した。</p>	<p>A 省エネルギー 北側に無駄な窓を設置しない。</p>	
<p>B 省資源等 断熱を考慮し、省資源に努めた</p>	<p>C 緑化 札幌市で定める基準以上の緑化を実施した。</p>	<p>D 雪処理 要所要所にロードヒーティングを施工した。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される